

## 事業概要

場所も時間割も教科書も超えて、自分の興味関心のあることを探究していく学びを自ら選んでいける子どもを育成するための学習システムの構築と社会実装をめざしたプロジェクトです。

Active&Adaptiveな「未来の教室」を日本の教育において広く実現するためには、現場におけるABSL(Activity based Subject Learning)の実現性とその有用性を明示することがら始めなければなりません。

ABSL—つまり、「教科単元から」の積み上げ、それを横断的につなげる学びではなく、「アクティビティ（活動）から」展開する教科単元と無作為につながる学びを指します。

ABSLアプローチで開発されたコンテンツを、教育現場にどのように提供すべきか、学習到達度をどう見とるべきか、有識者×東京大学先端科学技術研究センター×キャリアリンクの三者で議論しながら、今年度は

- ・長野県軽井沢町
  - ・広島県東広島市
  - ・東京大学（異才発掘プロジェクト ROCKET）
- で実証を行います。

## 進捗状況と今後の展望

- 9月：有識者検討会の実施
- 10月：有識者への個別ヒアリング
- 10月3日、4日：長野県軽井沢町における1泊2日の実証研究

自分の興味関心のあることを探究していく学びを自ら選んでいくために、

- ・コンテンツの内容がどうあるべきか
  - ・どのような形で公教育現場に提供されるべきか
- 有識者の知見を活かし、上記の要件整理を行いつつ、その要件を踏まえたトライアル的な初回の実証を実施。

実証から見えてきた課題（学びの見とりなど）を踏まえ、更なる要件の整理、及びアセスメントの方向性について協議を行い、次回広島県東広島市における実証に向けたコンテンツを開発中。

また、並行して、コンテンツを公教育現場へ届けるための「教科単元」とのマッチングについても検討中。

# 参考①) 株式会社キャリアリンク



軽井沢町と東大先端研が描く未来の教育

## 未来の科学者、集まれ!

- 軽井沢の森の神秘を科学する -

### プログラムと講師の紹介



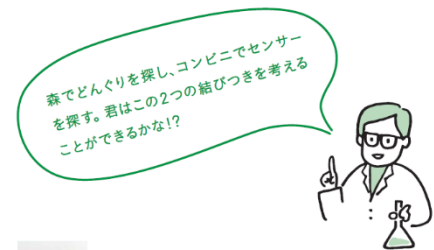
全ての科学はセンサーからスタートする  
中邑 賢龍 | 東京大学先端科学技術研究センター 教授



センサーでわずかな動きを捉えることができるのか!?  
巖淵 守 | 早稲田大学人間科学学術院 教授



経験は科学を越えるか!? 縄文の世界を解き明かせ!  
会田 進 | 考古学者 / 明治大学黒曜石研究センター 研究推進員



秋の味覚、どんぐりは食べられるか!?  
福本 理恵 | 東京大学先端科学技術研究センター 特任助教



ムササビはいつ空を飛ぶ? 飛行をウォッチできるか!?  
大塚 敏之 | 株式会社ビックオ ネットチャージャーガイド

